出世城

浜松城が「出世城」として知られているのは、何世紀にもわたり、影響力のある人々がこの城に関わってきたからです。最も有名な人物は将軍・徳川家康（1542～1616年）で、17年間、浜松城の城主でした。家康は15世紀中頃に始まった戦乱の時代、数々の戦のさなか、浜松城を本拠地としていました。家康はライバルたちを破ったのち将軍まで上り詰め、1603年から統一された日本を支配しました。

家康のあとの浜松城の歴代城主の中には、この城で短い期間を過ごしたのち、さらなる要職に昇進した者もいました。例えば将軍に直属して政務を行う最高位である老中になった者は5人います。こうした要職の大半は、将軍になる前から家康を支えてきた大名に与えられました。

浜松城がもたらしたと思われる成功は、現代まで続いています。世界的な有名企業が多数、浜松で誕生しているのです。具体的にはバイクや自動車の大手企業スズキ、ホンダ、楽器メーカーのカワイ、ヤマハなどがあります。そうした企業の多くは今も浜松に本社を置いています。